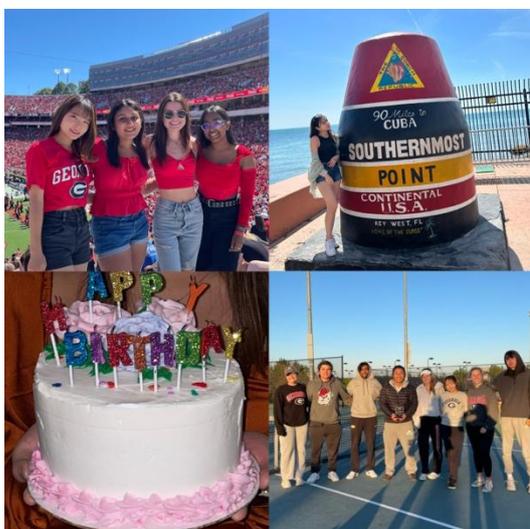


経営学部派遣学生 留学体験記-1

派遣先： ジョージア大学 (アメリカ)

派遣期間： 2022年 8月～ 2023年 5月



1. なぜジョージア大学に交換留学しようと思ったか？

自身の専攻であるビジネス (特に会計学) のレベルが高い点と、留学のような機会がなければなかなかいくことの無いような地域の大学である点からジョージア大学を選択しました。実際、授業のレベルは高く、会計専攻の生徒はUSCPA (米国公認会計士) の資格取得を目指す方が大半であったため刺激の多い素晴らしい環境でした。

2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと：

私は大学受験の際に取得した語学試験のスコアを、そのまま交換留学先に提出したため語学試験に関する勉強はほとんどしていませんでした。しかし高校以来久しぶりの英語の環境に少し不安があったため、高校時代の外国人の友人と何回か電話をし、スピーキングのリハビリをしていました。

3. 交換留学で一番嬉しかったこと：

交換留学を最後までやり遂げることができたことです。度重なるカルチャーショックや思いがけないことに直面する等様々な刺激を受ける毎日でしたが、一度も心折れることなく最後まで頑張ることができて、とても自分を誇らしく思います。

4. 一番辛かったこと：

オフキャンパスへの移動が簡単にできなかったことです。ジョージア大学は都市のアトランタから 2 時間程離れた場所にあり、キャンパスも広大だったためどこへ行くにしても車が必要であり、不便でした。基本友人の車に乗せてもらい移動をしていたため、頻りにスーパーに行くのがなくて済むように日用品を買いだめするなど工夫をしていました。夜は特に徒歩での移動が治安上難しかったため移動に制限があることも多々ありましたが、車に乗せてくれる現地地の友人のお陰で不自由なく生活することができました。

経営学部派遣学生 留学体験記-II

派遣先： サンディエゴ州立大学（アメリカ・カリフォルニア州）

派遣期間： 2022年 8月～ 2023年 5月



1. なぜサンディエゴ州立大学に交換留学しようと思ったか？

経営学をより深く学ぶことができる、かつ、多様なバックグラウンドを持つ人々が集まる大学で留学生活を送りたいという希望に合った大学だったためです。

元々特に地理的な希望がなかったため、先生からの助言もいただきつつ悩んだ末に決定しました。留学の目的に合った大学で留学生活を送ることができたと思っています。

2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと：

まずは交換留学の応募のために TOEFL のスコアを獲得しようと、TOEFL の参考書を買って勉強していました。ただ、あくまでも留学先ではより日常的なスピーキング・リスニングスキルが必要になると考えていたため、並行して Youtube で英語スピーカーの Vlog を見たりアプリを使ってスピーキングの練習をしたり、生活を意識した勉強もしていたと思います。

3. 交換留学で一番嬉しかったこと：

現地ですでた友だちと、アパートのソファに座ってお菓子を食べながら、自分たちの進路などについての深い話をするのができた時間が一番嬉しかったと思います。まず、自分の心の底の考えを英語で伝えることができたことへの達成感がありました。そして、バックグラウンドが異なる人でも同じような不安を抱えていると気づき、一緒に頑張ろうねと励まし合えるような関係になれると実感することができました。何気ない日常の瞬間でしたが、自分自身で経験したからこそ、いろいろな感情が芽生え、なんだか嬉しかったです。

4. 一番辛かったこと：

9 か月間も家族と離れて生活したことがなかったので、それが一番辛かったと思います。連絡はとれますが、時差もあるので困ったことが起きたときに相談することが難しく、大変でした。ですがその分、友だちと交流して支え合ったり、自分で決断をして様々なことに挑戦していく機会が増えたりしたとも思っています。

経営学部派遣学生 留学体験記-III

派遣先：国立清華大学

派遣期間： 2022年 9月～ 2023年 6月



1. なぜ国立清華大学に交換留学しようと思ったか？

私はもともと高校時代にニュージーランドへ留学した経験があったので、英語圏以外の国へ留学したいと考えており、また、日本と深いつながりがある国へ留学したいと思い、台湾を留学先として選びました。清華大学は都心から少し離れた場所にあり、勉強やキャンパスライフに集中できると考え、派遣先大学として選びました。

2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと：

授業は英語で受ける予定だったので、渡航前は英語を中心に勉強していました。私は勉強の時間を取るよりも、日常生活で英語を取り入れるスタイルの勉強方法が向いているので、ドラマ鑑賞を洋画にしたり、スマホの設定を英語にしたりなどしていました。中国語に関してはほぼ渡航後に勉強し、少し苦労したので、留学前に勉強していればより充実した生活を送れたのでは、と少し後悔しています。

3. 交換留学で一番嬉しかったこと：

私は現地大学のダンスサークルに入っていたのですが、そのサークルの現地学生の友達と旅行に行けたことはとても嬉しかったです。日々の活動で仲を深め、コミュニティの一員に慣れていたこと、現地の学生に旅行先を案内してもらえたこと、など非常に印象に残っています。

4. 一番辛かったこと：

留学を通して、辛かった時期は最初と最後のそれぞれ一か月ほどでした。最初の一か月は日本での生活とのギャップや語学の壁を感じたため、辛かったです。最後の一か月は、残り少ない時間を充実させないと、という焦りや就活イベント、期末テストやサークルの発表など、さまざまなことが重なり、忙しくなり、ストレスで辛かったです。留学を乗り越えたことで現在は落ち着いて行動できるようになり、良い経験だったと感じています。

経営学部派遣学生 留学体験記-IV

派遣先： カーディフ大学（イギリス）

派遣期間： 2022年9月～ 2023年6月



1. なぜカーディフ大学に交換留学しようと思ったか？

カーディフ大学は経営学を学びながらも文化などの幅広い分野の科目から授業の履修ができること、穏やかな生活環境であることから留学先として選択しました。交換留学を通じて自分自身の考え方や価値観を違う角度から捉え直すきっかけにしたいと思っていたため、授業内容や生活環境ともに理想的な環境であったと思います。

2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと

経営学部の海外学修事前講習の授業を履修することや留学生のチューターとして活動することなどの国際的な環境に身を置くことは意識していました。

語学の学習については IELTS のテスト対策がメインでしたが、知り合いの海外出身の方と定期的に会うなど積極的に英語を使う機会を作りました。

3. 交換留学で一番嬉しかったこと：

イギリスから日本への帰国の時に現地で出会った友人に見送ってもらえたことです。1年弱という短い期間でしたが、その期間で築いてきた友人との関係や一緒に作ることでできた思い出を改めて感じる機会となり、非常に嬉しかったです。

4. 一番辛かったこと：

比較的周りの環境に恵まれたこともあり、辛い思いをしたことは少なかったのですが、日々小さな挫折の連続だったと思います。例えば少人数で行われるディスカッションの授業では、予習を十分にしたつもりでも授業で実際の議論に入っていくことができないこともありました。そのなかでも出来る範囲で最善を尽くすこと、ディスカッションでは満足のいく結果が得られなくてもエッセイではいい成績を取ることを目標にするなどの他のところでカバーすることを意識してモチベーションを維持していました。